

フェリー・RORO 船の運航中における大傾斜事例の報告要領

1. 対象事業者

フェリー・RORO 船の運航事業者

2. 対象事例

大傾斜(25 度を超える傾斜)の発生と、これによる車輛・シャーシ、コンテナ等の搭載貨物の移動や荷崩れ、固縛装置の移動・脱落・変形等の事例

(貨物の損傷等の被害の大小に関わらず、貨物や固縛装置の移動・変形等が生じたすべての事例を対象としてください。)

3. 報告要領

別添調査票に記入の上で、各地方運輸局等の運航労務監理官に提出願います。なお、記録等が存在せず不明な箇所がある場合についても、調査票を作成の上、該当する欄にその旨を記入願います。

4. 補足

本調査は、フェリー・RORO 船の安全対策の効果を評価・検討するための調査ですので、当該事例による損害の大小に関わらず報告をお願いします。

また、調査の目的上、報告された事案について、個別事例の公表を行うことや、損傷なし又は損害の軽微な事案に対する事業者への監査・指導等を行うことは想定していませんので申し添えます。

以上

フェリー・RORO 船における搭載貨物の移動等に関する調査票

船名	
航行状況	
針路	
発生日時	
発生位置	
天候	
風向風速	
主たる波向、波高	
航行中の最大傾斜角	
乗船状況	
貨物の搭載状況	
固縛状況 (固縛マニュアル又は固縛のイメージ図(手書き可)を添付すること)	
発生時の状況	
生じた現象	

フェリー・RORO 船における搭載貨物の移動等に関する調査票(記入例)

船名	○×丸
航行状況	東京から釧路に向けて航行中
針路	20 度
発生日時	平成○年○月○日 ○時○分ごろ
発生位置	犬吠埼の東南東 約○km
天候	雨
風向風速	東北東の風 15m/s
主たる波向、波高	東北東 約 4m
航行中の最大傾斜角	約 25 度
乗船状況	乗客○名、乗員○名
貨物の搭載状況	シャーシ○台、コンテナ(直積み)○個、乗用車○台
固縛状況 (固縛マニュアル又は固縛のイメージ図(手書き可)を添付すること)	<p>シャーシ:車止め4個、固縛策(スピータンバー)6本(天井釣り2本、甲板止め4本)、で固定</p> <p>コンテナ:2 段積みで搭載しているコンテナの、上段のコンテナの下隅を固縛策(スピータンバー) で固定 (コンテナ 2 個ごとに 1 か所を固定)</p> <p>乗用車:車止め2個 で固定</p>
発生時の状況	航行中に波の影響で次第に揺れが大きくなり、左舷側に大傾斜が発生した際に大きな音が生じて貨物が移動した。
生じた現象	<p>B デッキに搭載していたシャーシを固定していた固縛策のフックが変形し、固縛策が外れ、シャーシが隣のシャーシにぶつかっていた。</p> <p>C デッキに搭載していたコンテナのうち、固縛されていないコンテナが積載時より左舷方向に約 1m 移動していた。</p> <p>D デッキに搭載していた乗用車が左舷方向に約 50cm 移動していた。</p>